

令和8年度 自動車特定整備業 実態調査票

一般社団法人 日本自動車整備振興会連合会

1 実態調査について

(1)調査の目的

この調査は、自動車整備事業者における整備需要の状況・経営状況等の実態を把握し、健全な発達に資する方策の基礎資料を得るため、毎年実施しているものです。

この調査票および集計結果は上記以外の目的に用いませんので、事実をありのまま記入してください。

調査票は関係法令に則って適切に取り扱い、集計後は責任をもって廃棄処分いたします。

(2)調査の対象

この調査は、自動車特定整備業の認証を受けている事業場における令和8年6月30日現在の実態を調査するものです。

(3)提出期限・提出先

提出期限は所属の自動車整備振興会からお知らせします。提出先も自動車整備振興会になります。

2 記入方法

(1)数字を記入する欄に「000円」と印刷されているところは、千円未満を四捨五入してください。

記入すべき数字が零の場合は空欄にせず「0」と記入し、不明の場合には「不明」と記入してください。

(2)選択肢で回答する欄は該当する番号・かなを○で囲むか、□内に✓を記入してください。

(3)赤の太枠の回答欄に記入漏れがあると集計対象外となってしまうので、忘れずに記入願います。

(4)記入方法について分からないことがありましたら、所属の自動車整備振興会にお問い合わせください。

※Excelシートに入力して、プリントアウトできる様式もご利用いただけます。

(日整連)<https://www.jaspa.or.jp/member/data/whitepaper2.html> からダウンロードしてください。

1 事業場(支店または営業所)の概要

事業場の名称、所在地(市・区・郡まで)および認証・指定番号を記入してください。

該当する場合✓

企業名 (事業場名)				
支店または営業所名				
事業場の 所在する 市区郡	都道府県	市区郡	認証番号	—
			指定番号	—

事業場の業態、主な事業内容および整備で入庫が多い車種について、それぞれ該当するものを選択してください。

事業場の業態 (ひとつ選択✓)	主な事業内容 (選択した業態の右の枠内からひとつ選択✓)	入庫が多い車種 (ひとつ選択✓)
1 専 業	a 法定点検・車検・通常整備 b 車体整備(板金、塗装) c 電装整備 d その他	1 乗用・貨物車
2 兼 業	e 自動車販売 f 自動車部品・用品販売 g ガソリンスタンド h その他	2 乗用車
3 ディーラー	i 自動車メーカーの正規販売店 ※二輪車を含む j サブディーラー(上記正規販売店から仕入れている) k その他	3 貨物車
4 自 家	l 旅客輸送 m 貨物輸送 n その他	4 二輪車
		5 その他

業態の定義：(専業) 整備部門の売上高が総売上高の50%を超える事業場。
(兼業) 自動車販売や部品用品販売、保険、石油販売など兼業部門の売上高が総売上高の50%以上を占める事業場。
(ディーラー) 自動車製造会社または国内卸売販売会社と特約販売店契約を結んでいる企業の事業場。
(自家) 主として自らが保有する車両の整備を行っている事業場。

— 1 —

(1) 売上高および原価の消費税の取り扱いは、どちらになりますか。

(2)決算は何月ですか。

イ. 消費税抜きで記入	ロ. 消費税込みで記入
-------------	-------------

月

※個人事業主の決算月は12月です

(3)あなたの事業場は、どちらになりますか。

イ. 本社(企業)または個人経営 . . . (4) (5) (6) へ	ロ. 支店・営業所等 . . . (5) (6) へ
--------------------------------------	----------------------------

(4) あなたの事業場が**本社**(企業)または**個人経営**の場合、次の状況について記入してください。
 なお、事業場が支店・営業所等である場合は、(4)についての記入は不要です。

1. 資本金 (または出資金、元入金) および総従業員数	資本金 (出資金)		百	十	億	千	百	十	万	千	百	十	一	円	
									十	万	千	百	十		一
		企業全体の総従業員数 (注)アルバイトやパート等の非常勤は除いてください。													人
2. 企業(組合)の形態 〔該当する番号等を○で 囲んでください。〕	1. 株式会社 2. 合資会社 3. 合名会社 4. 有限会社 5. 合同会社 6. 組合(イ. 整備協業 ロ. 整備協同 ハ. 農協・その他) 7. 個人 8. その他官公庁等														
3. 企業全体の総売上高 と各事業が占める割合 〔割合は、合計が100% となるように記入し てください。〕	令和7年度(または令和7年 決算1年分)の企業全体の 総売上高		百	十	億	千	百	十	万	千	百	十	一	円	
											0	0	0		
	整備	新車販売		中古車販売		部品・用品 販売		保険代理店 業務		その他 ()					
百	十	一	百	十	一	百	十	一	百	十	一	百	十	一	
		%			%			%			%			%	

(5)整備関係従業員数等について (事業場毎)

区 分	総 人 員 *(ロ)		国家資格保有状況 *(ハ)						平均年齢		平均年収 *(ニ)										
			うち、 一級整備士		うち、 二級整備士		うち、 三級整備士														
	万	千	百	十	一	百	十	一	百	十	一	十	一	千	百	十	万	千	百	十	一
1. 整備要員(工員) *(イ) 〔整備主任者、自動車検査員、 板金・塗装・電装工を含む〕																					
うち、女性																					
うち、外国人																					
2. その他の人員 〔営業・保険・事務など 整備以外にのみ従事する者〕																					
うち、女性																					
合 計																					
うち、女性																					

(6)整備作業従事者の就業形態

正規の従業員 職 員	経営者 役 員	契約社員 職員	パート アルバイト	派遣社員	その他

(注) *イ 整備作業を行ってれば、役員（経営者）や無資格の工員も整備要員に含めてください。
 *ロ アルバイトやパート等の非常勤は除いてください。
 *ハ 複数の資格を持っている場合は、最上級の資格欄に記入してください。
 *ニ 平均年収には、毎月の給与（税込み）、賞与、諸手当（通勤手当を含む）、歩合など、現物支給がある場合にはその相当額を含む総支給額の平均を記入してください。

2 事業場の経営状況

令和7年度または令和7年の決算期1年分の状況を記入してください。

(1)整備在庫台数および整備売上高について（事業場毎）

		入 庫 台 数					整 備 売 上 高							
		十	万	千	百	十	億	千	百	十	万	千	百	十
1. 車 検 整 備	2 年												0	0
	1 年												0	0
2. 定期点検整備	1 年												0	0
	6 か月												0	0
	3 か月												0	0
3. 事故整備（板金・塗装含む）													0	0
4. その他整備 *（ホ）													0	0
合 計													0	0

（注）*（ホ） 故障・不具合等に伴う臨時整備、用品取り付け整備、オイル交換等のメンテナンス整備、ユーザーからの依頼による任意点検整備等です。

(2)整備売上高および売上原価の内訳について（事業場毎）

整 備 売 上 高							左 欄 の 原 価						
	億	千	百	十	万	千		億	千	百	十	万	千
1. 工 賃 売 上 高						0	1. 整備要員人件費 *（ヘ）						0
2. 部品材料売上高 *（ト）						0	2. 部 品 材 料 費 *（チ）						0
3. 外 注 売 上 高 *（リ）						0	3. 外 注 費 *（リ）						0
合 計						0	合 計						0

（ 1 ） ・ （ 2 ） の 売 上 高 合 計 が 一 致 す る こ と を ご 確 認 く だ さ い

（注）*（ヘ） 決算期内に全整備要員のために支出された人件費総額（毎月の税込み給与、賞与、諸手当および福利厚生費等を含む）を記入してください。
*（ト） 整備作業に伴って使用した部品材料の売上高を記入してください。
*（チ） 「部品材料売上高」に使用した部品の仕入高を記入してください。
*（リ） この欄には板金、塗装、電装およびガラス等の外注の他に、他の事業場に整備を依頼した車両についても記入してください。この場合、ユーザー請求料金を「外注売上高」に、外注先支払額を「外注費」に分けて記入してください。

(3)レバーレート（labor rate）について

あなたの事業場では、（一般顧客向けの）定期点検や一般整備で受取工賃を算出する際にレバーレートを
使用していますか。使用している場合は、令和6年度と令和7年度のレバーレートを記入してください。

イ. 使用している

ロ. 使用していない

令和6年度（税抜）					円	令和7年度（税抜）					円
万	千	百	十	一		万	千	百	十	一	

(4)平均受取技術料(工賃)について

あなたの事業場で取り扱うガソリンの小型四輪自家用乗用車について、次に示す作業ごとに令和7年と令和8年の各6月における1台あたり平均受取技術料(部品材料費・外注費等は除く)を記入してください。
なお、ガソリンの小型四輪自家用乗用車を取り扱っていない場合には記入不要です。

ガソリンの小型四輪自家用乗用車	作 業 名		令和7年6月（税抜）					令和8年6月（税抜）						
			十	万	千	百	十	一	十	万	千	百	十	一
	1. エンジン・オイル交換	1台分						円						円
	2. ディスク・パッド交換	1台分						円						円

3 整備要員の雇用状況 8年度調査テーマ

少子化や若者のクルマ離れなどの影響により、自動車整備士を目指す若者が減少しています。政府は、生産性向上や国内人材確保のための取組等に加えて、特定技能制度など専門性・技能を有する外国人の受け入れをすすめています。今回は、皆さまの事業場における外国人の雇用状況等についてお伺いします。

(1)過去1年間における整備要員の増減および未充足整備要員数 ※整備要員の定義は2ページ(注)イを参照
※日本人を含む全体の増減を回答してください。未充足整備要員数とは整備要員の欠員数です。

過去1年間に採用、異動等により増加した整備要員数	過去1年間に退職、異動等により減少した整備要員数	調査時点(令和8年6月30日)の未充足整備要員数
人	人	人

(2)外国人の雇用状況 欠員数

あなたの事業場(工場)における外国人の雇用状況について、1~3の中から選んでください。(択一)
1の場合には()内に在留資格別の人数を、2の場合には、雇用を予定(検討)している在留資格の中から該当する選択肢に○をつけてください。(複数選択可) ※過去に雇用していた場合は、2または3を選択してください。

1. 雇用している

2. 雇用したい

3. 雇用しない

→ 特定技能[1号()人・2号()人] 技能実習()人
技術・人文知識・国際業務()人 その他()人

→ イ. 特定技能 ロ. 技能実習 ハ. 技術・人文知識・国際業務

→ ニ. その他 () ホ. 未定

→ (4)へ

(3)外国人を雇用している(雇用したい)理由 (複数選択可)

イ. 日本人が採用できず、人手が足りないから

ロ. 能力・人物本位で採用したら外国人だった

ハ. 外国人ならではの能力が必要だから

ニ. 社内の多様性を確保するため

ホ. その他 ()

(4)外国人の雇用における課題 (複数選択可) ※外国人を雇用している、していないにかかわらず回答してください

イ. 入国までの経済的負担等、金銭的支援が難しい

ロ. 就労ビザ等、在留資格許可申請への対応が困難

ハ. 在留できる年数が短い

ニ. 言語が通じにくい、指示伝達が難しい

ホ. 研修や教育に時間がかかる

ヘ. 文化や価値観の違いによるトラブルが多い

ト. 住居の手配等、生活の支援が難しい

チ. 転職や退職してしまうリスクが高い

リ. 募集方法がわからない

ヌ. 特に問題はない

ル. その他 ()

ご協力ありがとうございました

— 4 —